

第30回全国消防操法大会実施要綱

消 防 庁
公益財団法人日本消防協会

第30回全国消防操法大会実施要綱

1 目 的

全国消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、もって消防活動の充実発展に寄与することを目的とする。

2 主 催

消防庁、公益財団法人日本消防協会

3 協 力

宮城県、仙台市、利府町、公益財団法人宮城県消防協会、宮城県消防長会

4 日 時

令和6年10月12日（土） 9時00分開始（雨天決行）

5 会 場

宮城県総合運動公園グランディ・21

宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1

6 大会運営委員等

大会運営委員長	日本消防協会理事長
大会運営副委員長	消防庁消防大学校校長
〃	日本消防協会常務理事
大会運営委員	消防庁総務課長
〃	消防庁地域防災室長
〃	消防庁消防大学校副校長
〃	青森県消防協会会長
〃	岩手県消防協会会長
〃	宮城県消防協会会長
〃	秋田県消防協会会長
〃	山形県消防協会会長
〃	福島県消防協会会長
〃	新潟県消防協会会長
〃	宮城県消防長会会長
〃	宮城県復興・危機管理部長
審査長	消防庁消防大学校校長
副審査長	消防庁地域防災室長
審査員	都道府県消防協会会長の推薦者

7 大会次第

- (1) 選手団入場
- (2) 日本消防協会旗入場
- (3) 開 会 式
 - ア 開 会 宣 言
 - イ 国 旗 掲 揚
 - ウ 優 勝 旗 返 還
 - エ 主 催 者 挨 拶
 - オ 来 賓 祝 辞
 - カ 歡 迎 の 辞
 - キ 競 技 上 の 注 意
 - ク 選 手 宣 誓
- (4) 選手団退場
- (5) 操 法 開 始
- (6) 休 憩
- (7) 操 法 終 了
- (8) 女性消防操法披露
- (9) 表 彰 式
 - ア 審 査 結 果 発 表
 - イ 表 彰
- (10) 閉 会 式
 - ア 万 歳 三 唱
 - イ 国 旗 降 納
 - ウ 閉 会 宣 言

8 消防操法種別

- (1) ポンプ車操法
- (2) 小型ポンプ操法

9 操法要領

「第30回全国消防操法大会操法実施要領」による。

10 出場隊等

- (1) 都道府県ごとにポンプ車又は小型ポンプのいずれか1隊とする。ただし、参加できない消防団がある場合は、順番を繰り上げ実施する。
- (2) 出場種目については、前回大会に出場したものと異なる操法種目とする。なお、開催地である宮城県は、両種目出場とする（出場種別・出場順は別表1のとおり。）。
- (3) 出場隊の指揮者は、班長以上の階級の者とする。

11 出場資格

消防団員である者とする。

12 使用消防機械器具

- (1) ポンプ、車両及び機材
使用するポンプ、車両及び機材は、原則として持ち込みとする。
- (2) ホース
使用圧力1.3メガパスカル以上、内径65ミリメートル、長さ20メートル（金具部分を除くジャケット部の長さ）以上の消防用ホースとする。
- (3) 筒 先
23型以下の噴霧ノズル付、プレイパイプの長さは60センチメートル以上のものとする。
- (4) と び 口
長さ 1.5メートル以上のものとする。

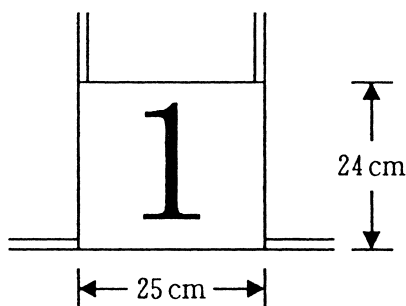
13 使用消防機械器具の検査

大会当日使用する使用消防機械器具の事前検査を別表2の事前検査場において、日本消防協会職員及び審査員が検査を実施する。

14 出場隊の服装

- (1) 「消防団員服制基準」に定める活動服等とすること。
- (2) ヘルメット及び手袋を着用すること。
- (3) 靴は、操法に支障のないものとする。
- (4) (1)～(3)について出場隊（補助者含む。）ごとに斉一を期すること。
- (5) 次に定めるゼッケンを付けること（指～補）。
 - ア 大きさ（基準）

横	25センチメートル
縦	24センチメートル
 - イ 生地は白色、黄色及び橙色のいずれか一色とする。
 - ウ 文字及び数字（アラビア数字）は、黒色とする。
 - エ ゼッケンには、文字以外のものは一切表示しない。
 - オ 取付け方法は、問わない。



- (6) 階級章は付けなくて良い。

15 審査及び表彰

「第30回全国消防操法大会操法審査要領」により審査し、その結果に基づき操法の種別ごとに下記のとおり表彰する（表彰要領は別表4参照）。

1位	優勝旗とメダルを授与し表彰する。 ○ 消防庁長官賞（持ち廻りの優勝旗） ○ 日本消防協会会長賞（優勝旗・メダル）
2～4位	準優勝楯及びメダルを授与し表彰する。
5～10位	優良賞楯を授与し表彰する。
11位以下	竿頭綬を授与し表彰する。
優秀選手賞	優秀選手賞楯を授与し表彰する。
参加賞	出場全隊員に授与する。

16 開会式参加要領（別添 1 参照）

(1) 入場順序は、総括指揮者を先頭に、ポンプ車の部及び小型ポンプの部前回優勝隊、ポンプ車の部出場隊、小型ポンプの部出場隊の順とし、別図 5 及び別図 6 のとおりとする。

(2) 入場行進参加者は、8 時 30 分までに、別図 5 に示す出場隊集合場所に集り、係員の指示に従い整列する。

なお、団長及び旗手の服装は、「消防団員服制基準」に定める甲種衣又は乙種衣の服装とし、旗手の持つ旗については、団旗とする。

(3) 9 時 00 分、係員の「選手団入場」の合図により、入場順序に従い、出場隊ごとにプラカード（補助員）を先頭に団長、旗手、選手の順に別図 5 及び別図 6 に示す進路で行進する。

なお、各隊の間隔は 3 メートルとする。

(4) 各隊の指揮者（団長）は敬礼始点標員手前約 3 メートルにさしかかった時、「かしら～」と予令を発し、敬礼始点標員にさしかかった時に「右」と動令を発し、検閲者に対し挙手注目の敬礼を行う。次に、自分が敬礼終点標員にさしかかったところで自らなおり、「なおれ」と号令し、別図 5 及び別図 6 に示す進路を通り、所定の位置に整列する。

(5) 国旗掲揚

「選手団、回れ～右」の号令により向きをかえて、「国旗に注目」の号令により、国旗に注目する（再度正面に戻った際の自主整頓は省略する。）。

(6) 選手宣誓

各出場消防団の旗手は、係員の「只今より選手宣誓を行います」の合図の後、総括指揮者の「旗手のみ、かけ足～進め」の号令により別図 7 に示す隊形に集合する。

(7) 退 場

出場隊は、総括指揮者の「ポンプ車の部 そのまま 右向け～右」、「小型ポンプの部 そのまま 左向け～左」、「待機位置まで、かけ足～進め」の号令により、ポンプ車の部は防水幕左側に、小型ポンプの部は一般席右側に向かってかけ足で進み退場する（別図 5 参照）。

17 出場準備

(1) 使用資機材の確認

ア 1、2番目に出場する隊

ポンプ車の部、小型ポンプの部とも、入場行進前に行くこと。

イ 3番目以降に出場する隊

ポンプ車の部、小型ポンプの部とも、2つ前の隊が操法を開始したとき別図8の準備位置に集合し、係員の指示に従うこと。

(2) 点検

準備位置に集合する前に行い、コースに出たら確認のみとすること。

18 出場及び撤収

(1) 出場及び撤収の動線は、別図8のとおりとし、詳細は係員の指示に従うこと。

(2) ポンプ車の部に出場する隊は、係員の指示に従って入場し、速やかに積載ホースの修正を行ったのち、指揮者は待機指揮位置、各隊員はそれぞれの待機位置に集合して審査班長の競技開始の合図を待つこと。

(3) 小型ポンプの部に出場する隊は、係員の指示に従って、90秒を目安にホース（3本）、筒先、吸管等を搬送し、定位にセットしたのち、指揮者は待機指揮位置、各隊員はそれぞれの待機位置に集合して、審査班長の競技開始の合図を待つこと。

(4) 迅速な大会進行を図るため、各出場隊はいたずらに時間を費やすことなく、時間の短縮に努めること。

19 表彰式及び閉会式集合要領（細部は別添1の図参照）

(1) 出場隊は女性消防操法披露を都道府県応援席で見学する。

(2) 女性消防操法披露終了後、係員の指示により出場隊待機場所まで移動し待機する。総括指揮者の号令により、かけ足で一斉に開会式と同じ隊列に整列すること。

(3) 受賞要領は別表4に示すとおりとする。

20 操法の事前練習

(1) 大会前日の練習は、別表2に示す位置と時間で実施すること。

(2) 大会当日の事前練習は、大会会場では行わないものとする。

(3) 小型ポンプは、保管場所から事前練習場所まで台車等を利用し移動をすること。

21 会場への交通

(1) 臨時シャトルバスの運行

大会前日及び当日については、別添 2 を参照のこと。

(2) 駐車場

駐車場を利用する場合は、別添 2 を参照し、係員の指示に従うこと。

22 ポンプ車・小型ポンプ等の資機材の搬入について

- (1) ポンプ車は、別表 2 の①に示す保管場所に、小型ポンプは別表 2 の⑥に示す保管場所に、10月11日（金）9時45分までに搬入すること。
- (2) 業者に搬送を依頼する場合は、雨等に濡れても支障のないよう完全な梱包を施し、都道府県名・消防団名の表示を行うこと。また、都道府県の担当者が搬入に立ち会うこと。
- (3) 大会終了後、ポンプ車・小型ポンプ等の資機材は、当日中に搬出すること。
- (4) 大会前日の夜は、ポンプ車・小型ポンプ等の資機材を当協会が指定する場所において保管する。ただし、大会前日の17時00分から大会当日の7時00分までの間は、会場敷地内への立入りは禁止とする。

23 受付

- (1) 選手の受付は、大会前日の9時00分から13時00分までの間に来賓受付で行うこと。（別図 1 - 1 参照）
選手代表者は、当該受付において所定の手続を済ませること（詳細は、「第 30 回全国消防操法大会における選手団等の行動について」に示すとおり。）。
- (2) 来賓の受付は、大会当日7時30分から来賓受付において実施する（別図 2 - 1 参照）。

24 更衣場所

操法大会出場選手の更衣場所は、アリーナ内の出場選手更衣室とする（別図 1 - 2 及び 2 - 2 参照）。
なお、貴重品等は各自で管理すること。

25 その他

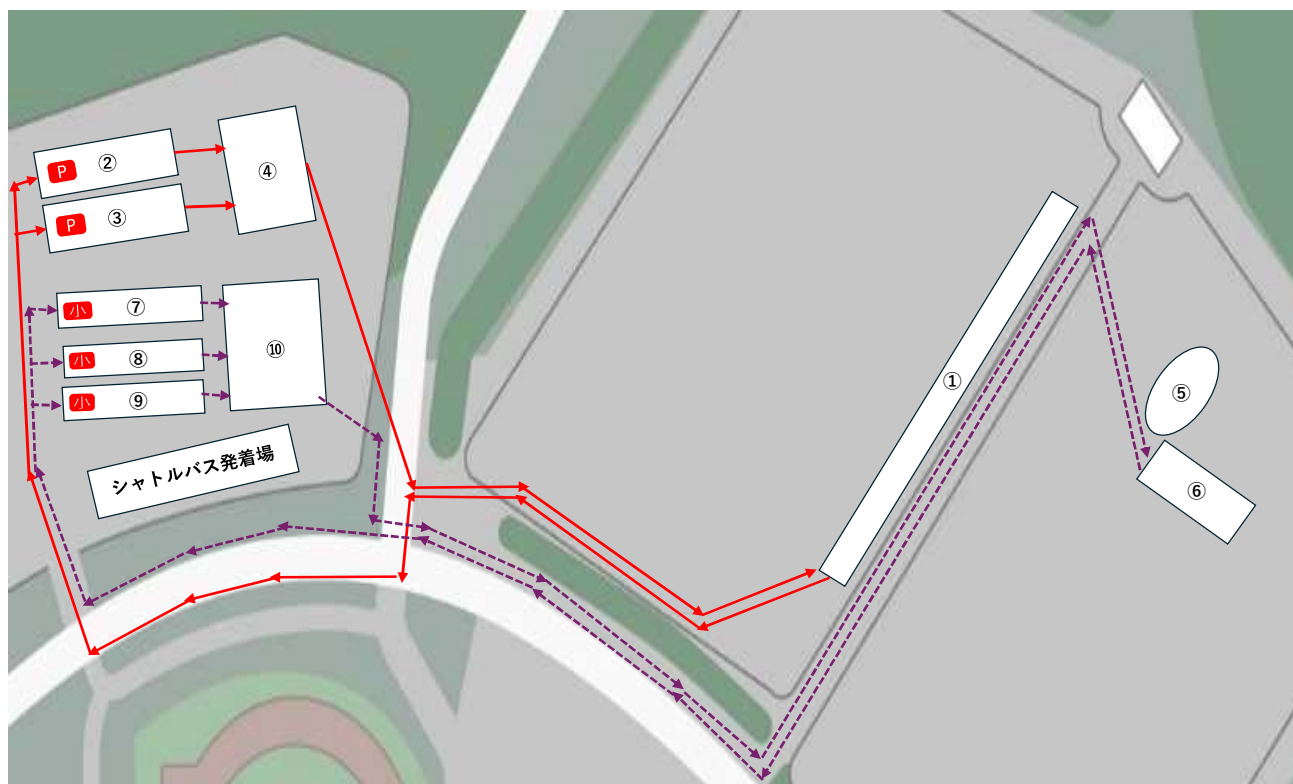
- (1) 進行予定については、別表 3 のとおりとする。
- (2) 都道府県応援席の区割り及び出場選手待機席は別図 3 及び別図 4 のとおりとする。

第 30 回全国消防操法大会都道府県別出場種目

出場順	ポンプ車の部	小型ポンプの部
1	長野県	愛知県
2	高知県	京都府
3	三重県	島根県
4	宮城県	東京都
5	秋田県	千葉県
6	富山県	福島県
7	埼玉県	愛媛県
8	栃木県	兵庫県
9	鳥取県	佐賀県
10	静岡県	石川県
11	北海道	山梨県
12	香川県	山口県
13	山形県	広島県
14	徳島県	岡山県
15	熊本県	群馬県
16	茨城県	大分県
17	大阪府	滋賀県
18	長崎県	宮城県
19	宮崎県	岩手県
20	福岡県	新潟県
21	神奈川県	青森県
22	沖縄県	鹿児島県
23	和歌山県	奈良県
24	福井県	
計	24 隊	23 隊

※ 開催地である宮城県は両種目出場

事前練習場所・事前検査場所（前日）



ポンプ車（動線 →）		小型ポンプ（動線 - - ->）			
①	保管場所	⑤	積み下ろし場所		
②	事前練習 1 コース	⑥	保管テント		
③	事前練習 2 コース	⑦	事前練習 1 コース		
④	事前検査場所（ポンプ車の部）	⑧	事前練習 2 コース		
練習時間	1コース	⑨	事前練習 3 コース		
	2コース	⑩	事前検査場所（小型ポンプの部）		
10：00～10：20	長野県	練習時間	1コース	2コース	3コース
10：20～10：40	三重県	10：00～10：20	愛知県	京都府	島根県
10：40～11：00	秋田県	10：20～10：40	東京都	千葉県	福島県
11：00～11：20	埼玉県	10：40～11：00	愛媛県	兵庫県	佐賀県
11：20～11：40	鳥取県	11：00～11：20	石川県	山梨県	山口県
11：40～12：00	北海道	11：20～11：40	広島県	岡山県	群馬県
12：00～12：20	山形県	11：40～12：00	大分県	滋賀県	宮城県
12：20～12：40	熊本県	12：00～12：20	岩手県	新潟県	青森県
12：40～13：00	大阪府	12：20～12：40	鹿児島県	奈良県	
13：00～13：20	宮崎県				
13：20～13：40	神奈川県				
13：40～14：00	和歌山県				
	福井県				

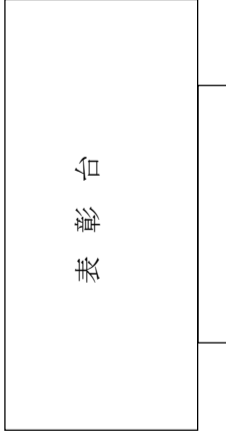
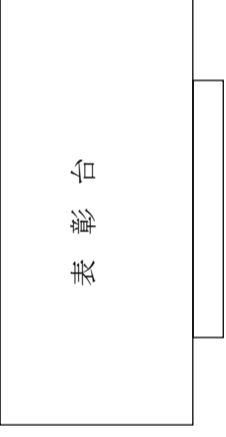
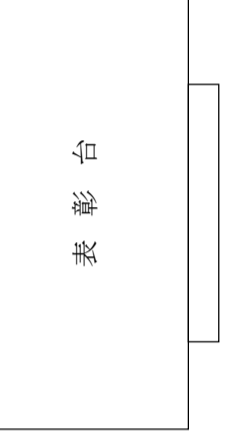
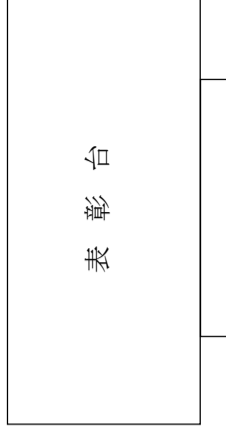
※事前練習は指定時間内をお願いします。なお、事前練習は任意であり必ず実施する必要はありません。使用機械器具の事前検査は必須であり、事前練習指定時間後に実施します。

進行予定表

別表3

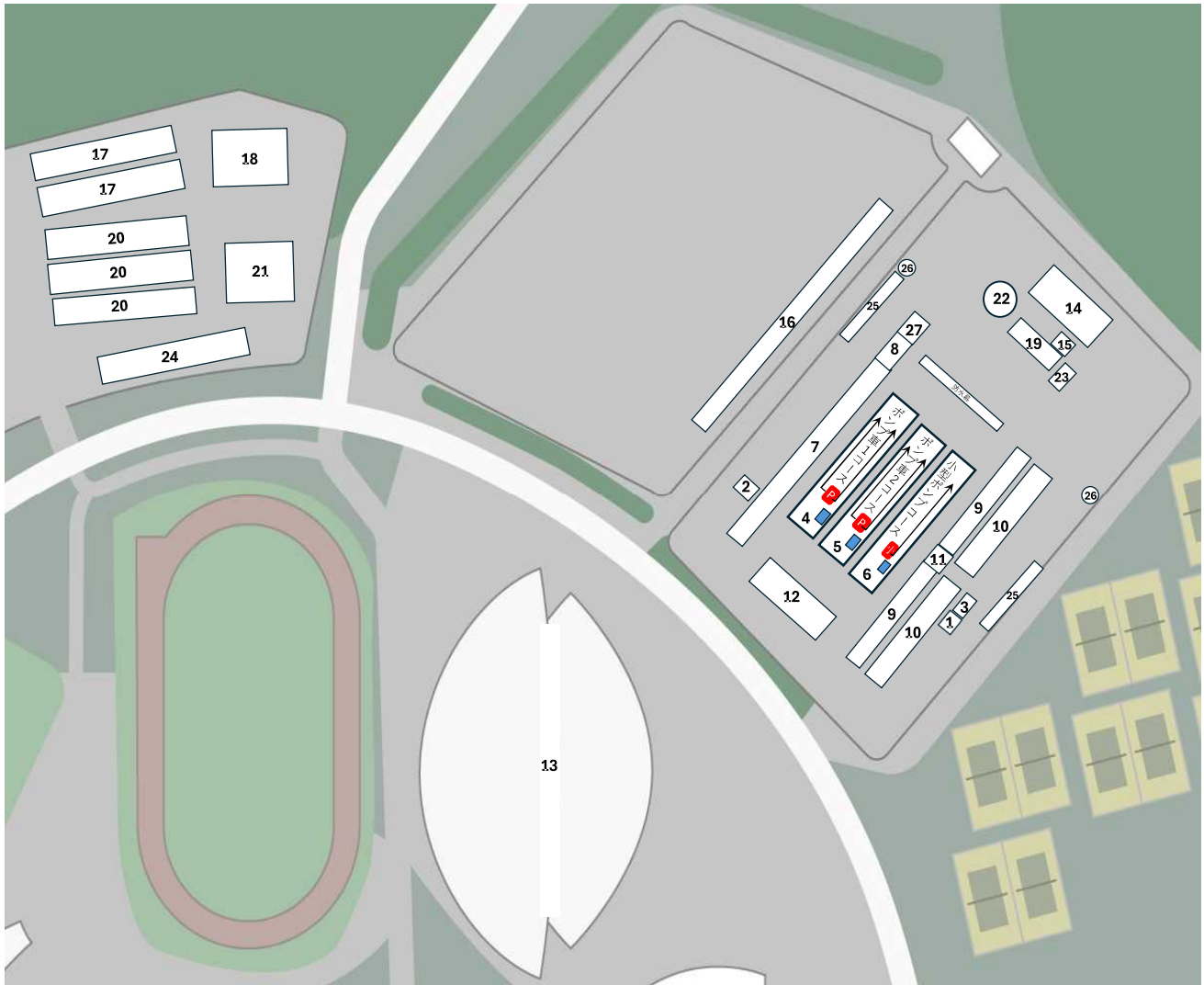
9:00	10	20	30	40	50	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
												表彰式 ・閉会式					
入場 行進						開会式						女性消防操法披露					
ポンプ車の部						長野県 高知 宮城 秋田 富山 山梨 三重 福井 石川 新潟 山形 岩手 青森 奈良						審査終了報告					
						山形県 徳島県 熊本県 茨城県 大分県 滋賀県 宮城県 奈良県 鳥取県 徳島県 山形県 奈良県 福井県 新潟県 山形県 岩手県 青森県 奈良県											
小型ポンプの部						長野県 高知 宮城 秋田 富山 山梨 三重 福井 石川 新潟 山形 岩手 青森 奈良											
						山形県 徳島県 熊本県 茨城県 大分県 滋賀県 宮城県 奈良県 鳥取県 徳島県 山形県 奈良県 福井県 新潟県 山形県 岩手県 青森県 奈良県											

入賞隊受賞要領

	優勝 (ポンプ車の部1隊、小型の部1隊) 計11名	準優勝 (ポンプ車の部3隊、小型の部3隊) 計33名	優良賞 (ポンプ車の部6隊、小型の部6隊) 計66名	優秀選手賞 (ポンプ車の部5名、小型の部4名) 計9名
隊	表彰台 	表彰台 	表彰台 	表彰台 
形	〇〇〇〇◎ 〇〇〇〇〇◎ 補3 2 1指 補4 3 2 1指 助番番番揮 員員員員者	指揮者 ◎◎◎ 指揮者 1 番員 〇〇〇 〇〇〇 1 番員 2 番員 〇〇〇 〇〇〇 2 番員 3 番員 〇〇〇 〇〇〇 3 番員 補助員 〇〇〇 〇〇〇 4 番員 補助員 〇〇〇	指揮者 ◎◎◎◎◎◎◎◎ 指揮者 1 番員 〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇 1 番員 2 番員 〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇 2 番員 3 番員 〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇 3 番員 補助員 〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇 4 番員 補助員 〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇◎ 〇〇〇〇〇◎ 3 2 1指 4 3 2 1指 番番番揮 員員員者
要領	<ol style="list-style-type: none"> 隊ごとに駆け足で前へ進み表彰台前に横隊で整列する。 ポンプ車の指揮者が「かしら〜中」「なおれ」と号令し、ポンプ車の2名が壇上へ進み、賞状、賞旗を受領し降壇する。 次に小型ポンプの2名が壇上へ進み賞状、優勝旗を受領し降壇する。 再びポンプ車の指揮者が「かしら〜中」「なおれ」と号令する(消防庁長官降壇する。) 	<ol style="list-style-type: none"> 隊ごとに駆け足で前へ進み表彰台前に縦隊で整列する。 受賞隊の右翼に位置する隊の指揮者が、「かしら〜中」「なおれ」と号令し、まず、右翼の隊の3名が壇上へ進み、賞状、楯、メダルを受領し降壇する。 以下順次同じ要領で受領し最後の隊が終了したら、再び受賞隊の右翼に位置する隊の指揮者が、「かしら〜中」「なおれ」と号令する。 	<ol style="list-style-type: none"> 隊ごとに駆け足で前へ進み表彰台前に縦隊で整列する。 受賞隊の右翼に位置する隊の指揮者が「かしら〜中」「なおれ」と号令し、まず、右翼の隊の2名が壇上へ進み賞状、楯を受領し降壇する。 以下順次同じ要領で受領し最後の隊が終了したら、再び受賞隊の右翼に位置する隊の指揮者が、「かしら〜中」「なおれ」と号令する。 	<ol style="list-style-type: none"> 名前を呼ばれた者から、順次駆け足で前に進み、表彰台前に横隊で整列する。 ポンプ車の指揮者が「かしら〜中」「なおれ」と号令し、ポンプ車の指揮者から1名ずつ壇上へ進み、賞状、楯を受領し降壇する。 小型の3番員が終了したら、再びポンプ車の指揮者が「かしら〜中」「なおれ」と号令する。
	<p>消防庁長官賞</p> <p>会長賞</p>	会長賞	会長賞	会長賞
	ポンプ車の指揮者が「右向け〜右」「かけ足〜進め」と号令し、元の位置に戻る。	受賞隊の右翼に位置する隊の指揮者が、「回れ〜右」「かけ足〜進め」と号令し、元の位置に戻る。	ポンプ車の指揮者が「右向け〜右」「かけ足〜進め」と号令し、元の位置に戻る。	ポンプ車の指揮者が「右向け〜右」「かけ足〜進め」と号令し、元の位置に戻る。

※ 号令をかける指揮者のみ挙手注目の敬礼を行う。

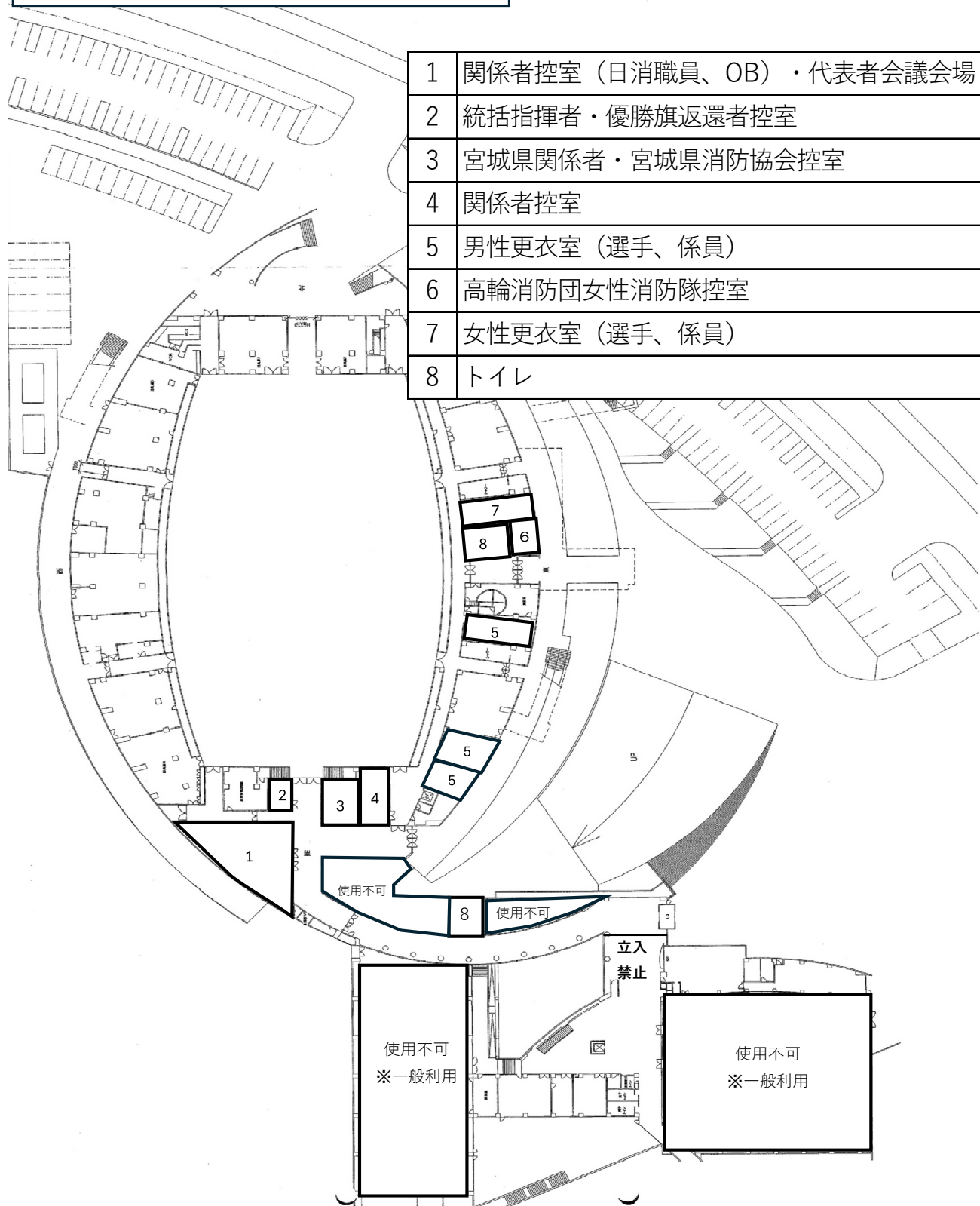
会場（前日10月11日（金））案内図



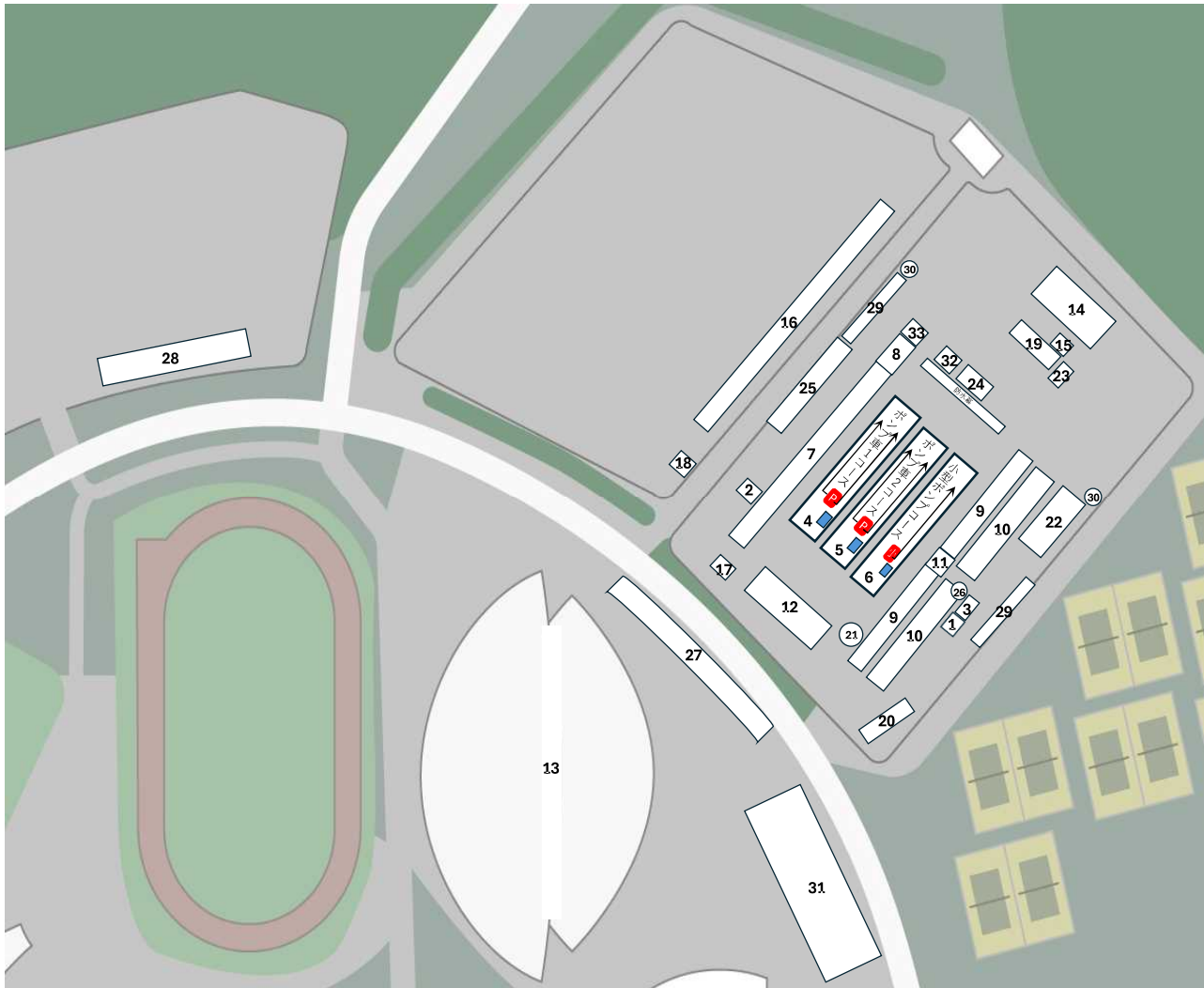
1	総合案内所	15	ポンプメーカーテント
2	来賓受付	16	ポンプ車保管場所
3	弁当配付所	17	ポンプ車事前練習場所
4	ポンプ車第1コース	18	ポンプ車事前検査場所
5	ポンプ車第2コース	19	小型ポンプ保管場所
6	小型ポンプコース	20	小型ポンプ事前練習場所
7	来賓テント	21	小型ポンプ事前検査場所
8	本部テント	22	小型ポンプ荷下ろし場
9	都道府県応援席	23	小型ポンプ撤収場所
10	都道府県応援スタンド	24	シャトルバス乗降場
11	実施隊応援スペース	25	仮設トイレ
12	一般観覧席	26	喫煙場所
13	選手更衣室等（詳細別図1-2参照）	27	救護所
14	ウォーミングアップエリア		

大会前日セキスイハイムスーパーアリーナ1階

1	関係者控室（日消職員、OB）・代表者会議会場
2	統括指揮者・優勝旗返還者控室
3	宮城県関係者・宮城県消防協会控室
4	関係者控室
5	男性更衣室（選手、係員）
6	高輪消防団女性消防隊控室
7	女性更衣室（選手、係員）
8	トイレ



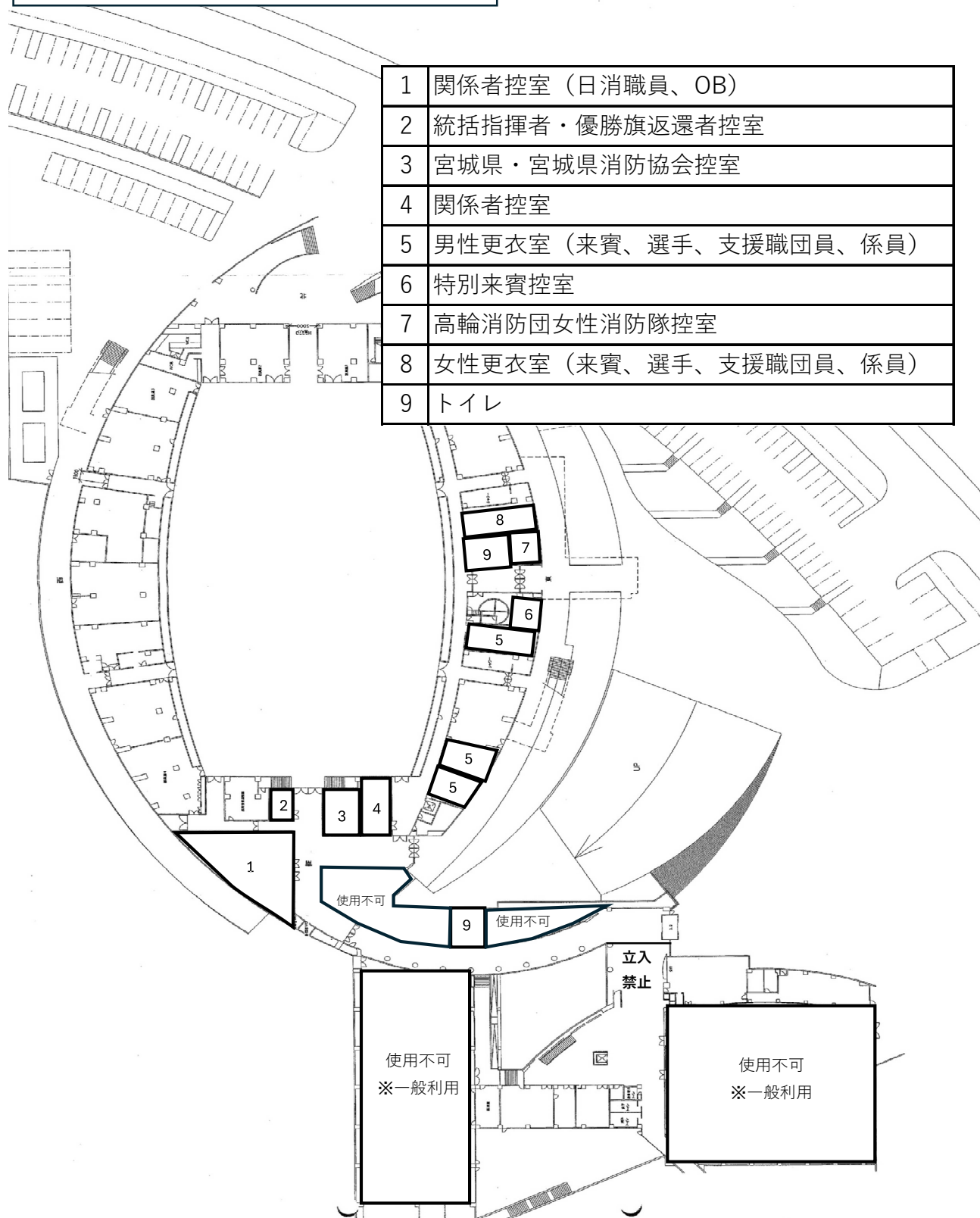
会場（当日10月12日（土））案内図



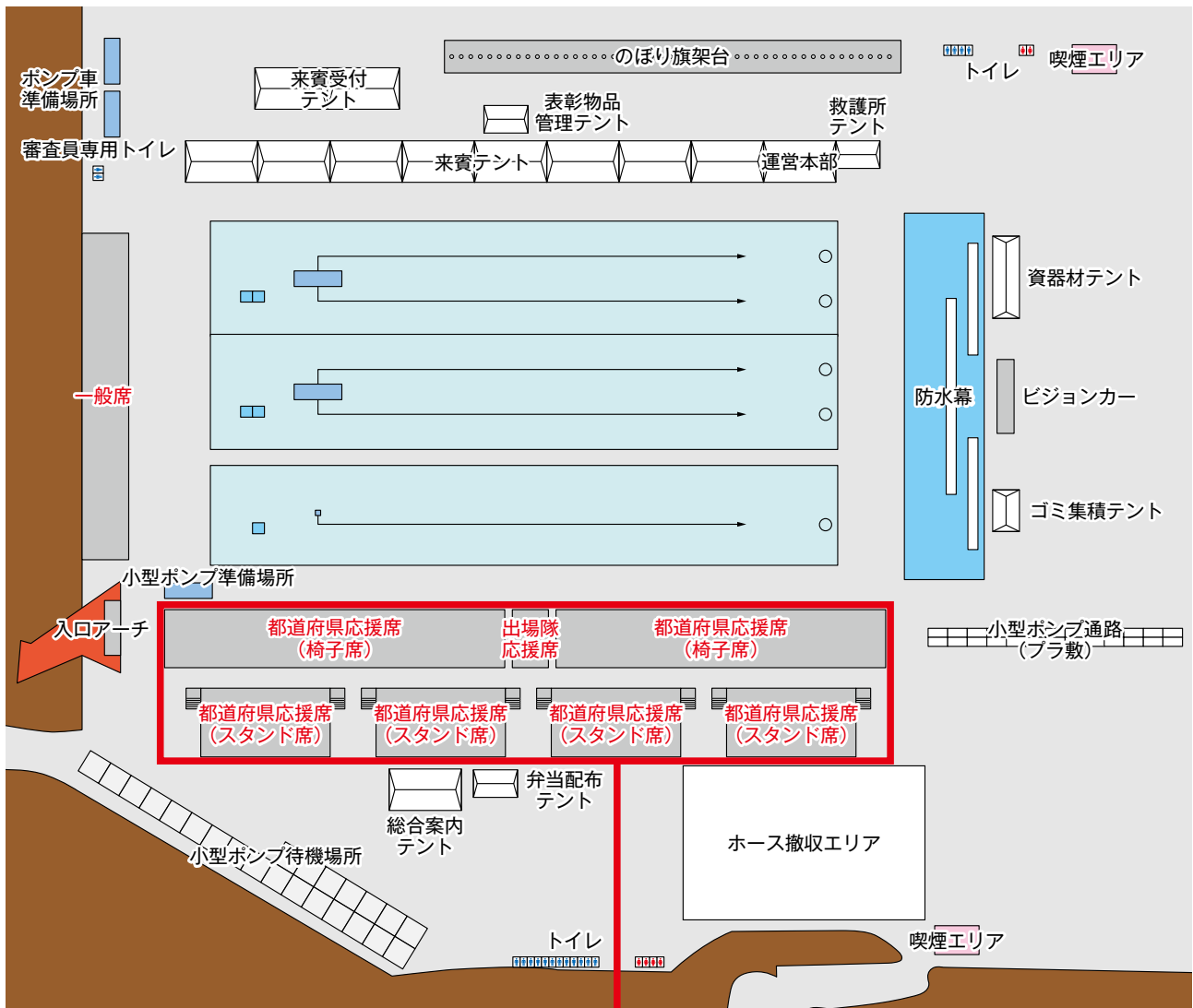
1	総合案内所	18	ポンプ車待機場所
2	来賓受付	19	小型ポンプ保管場所
3	弁当配付所	20	小型ポンプ待機場所
4	ポンプ車第1コース	21	小型ポンプ準備場所
5	ポンプ車第2コース	22	ホース回収場所
6	小型ポンプコース	23	小型ポンプ撤収場所
7	来賓テント	24	大型ビジョン
8	本部テント	25	のぼり旗設置架台
9	都道府県応援席	26	国旗
10	都道府県応援スタンド	27	特別来賓・来賓駐車場
11	実施隊応援スペース	28	シャトルバス乗降場
12	一般観覧席	29	仮設トイレ
13	特別来賓控室・各種更衣室等（詳細別図1-2参照）	30	喫煙場所
14	ウォーミングアップエリア	31	防災展・物産展会場
15	ポンプメーカーテント	32	資機材テント
16	ポンプ車保管場所	33	救護所
17	ポンプ車準備場所		

大会当日セキスイハイムスーパーアリーナ1階

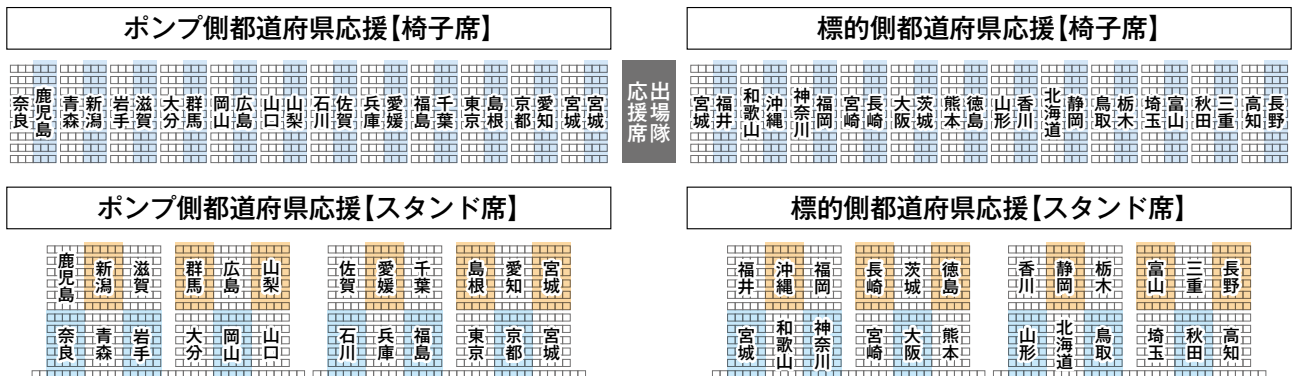
1	関係者控室 (日消職員、OB)
2	統括指揮者・優勝旗返還者控室
3	宮城県・宮城県消防協会控室
4	関係者控室
5	男性更衣室 (来賓、選手、支援職団員、係員)
6	特別来賓控室
7	高輪消防団女性消防隊控室
8	女性更衣室 (来賓、選手、支援職団員、係員)
9	トイレ



都道府県応援席区割り図



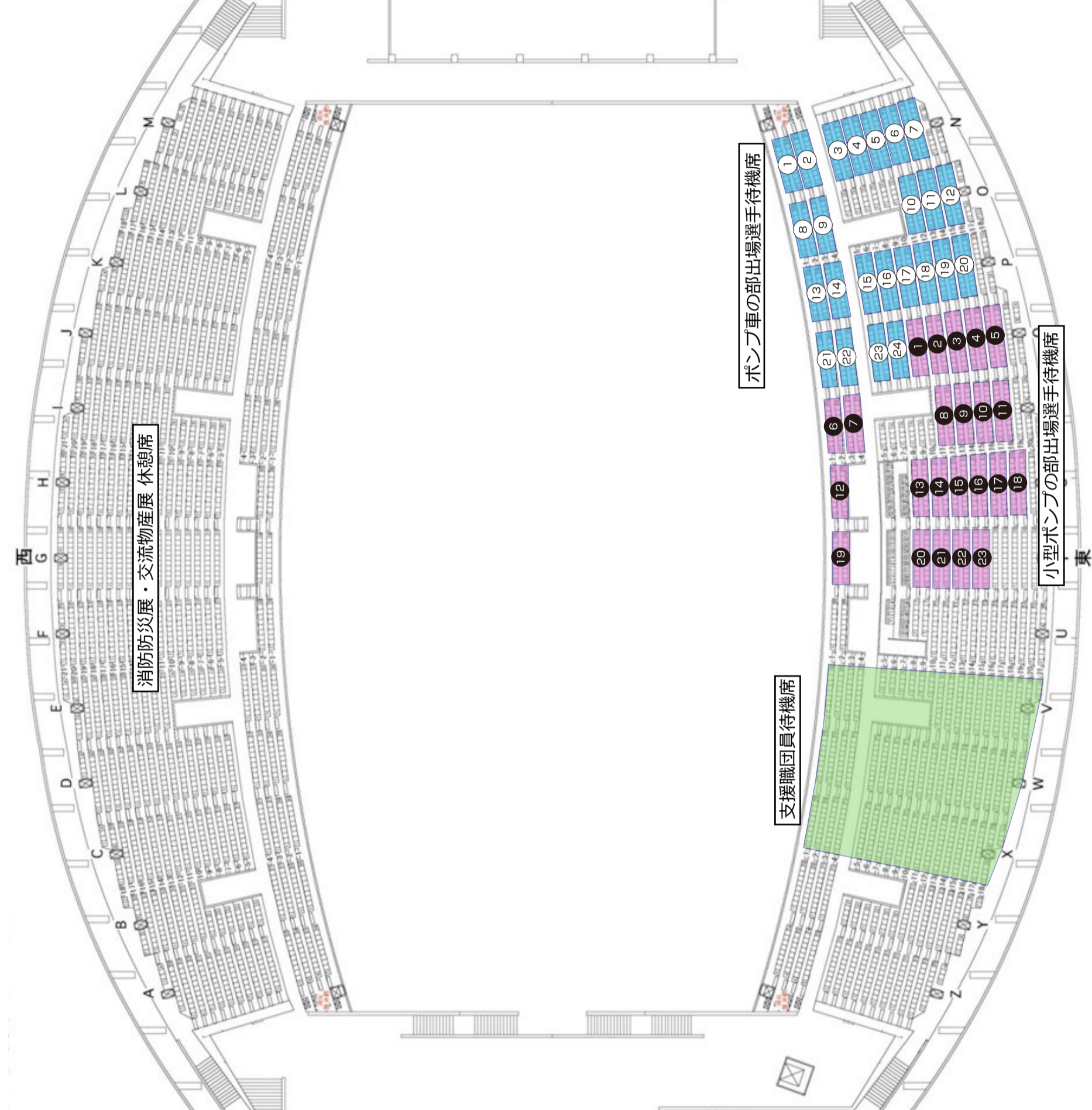
都道府県応援席区割り図



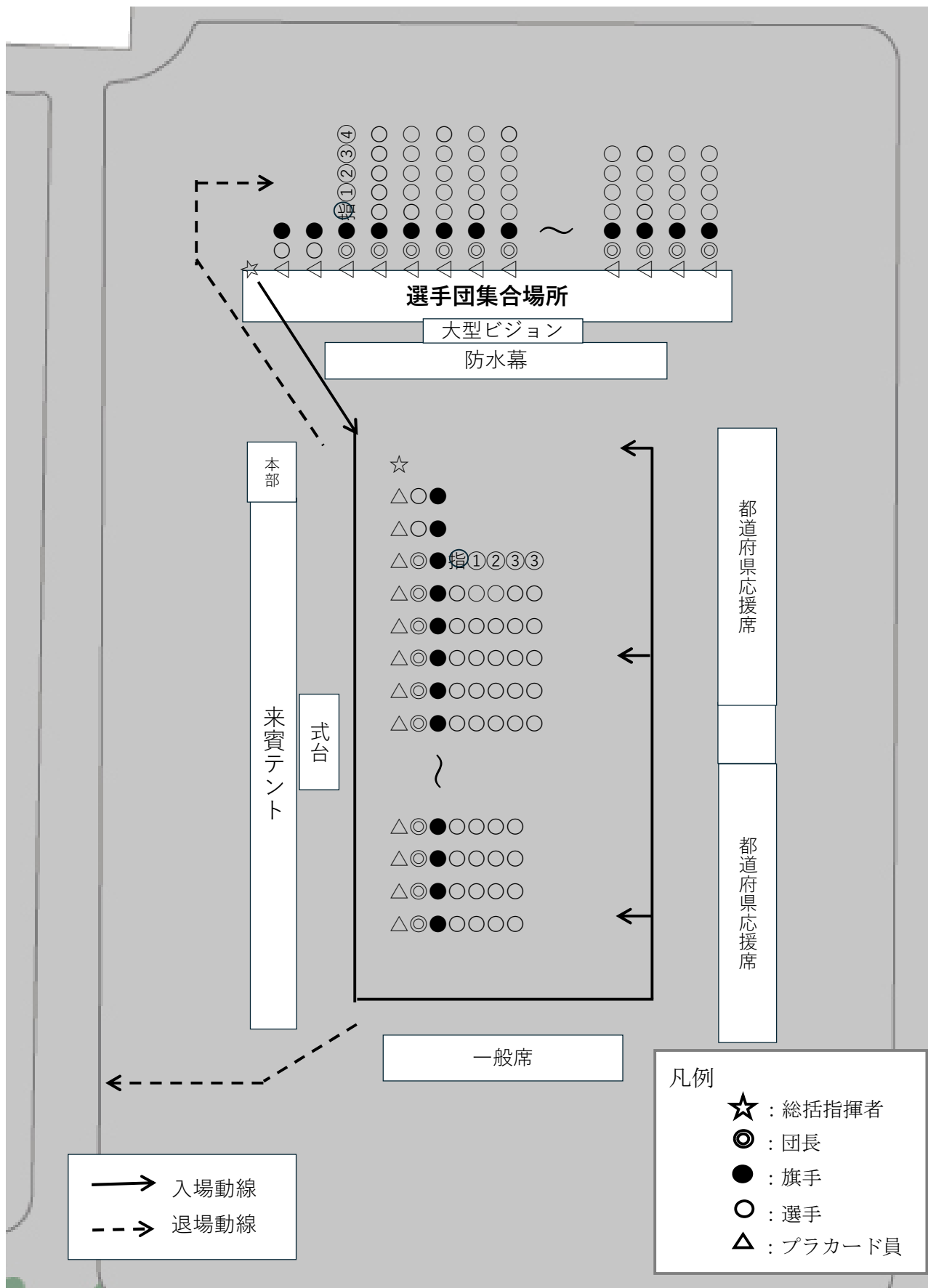
出場選手待機席（前日、当日）

出場順	小型ポンプの部
1	愛知県
2	京都府
3	島根県
4	東京都
5	千葉県
6	福島県
7	愛媛県
8	兵庫県
9	佐賀県
10	石川県
11	山梨県
12	山口県
13	広島県
14	岡山県
15	群馬県
16	大分県
17	滋賀県
18	宮城県
19	岩手県
20	新潟県
21	青森県
22	鹿児島県
23	奈良県

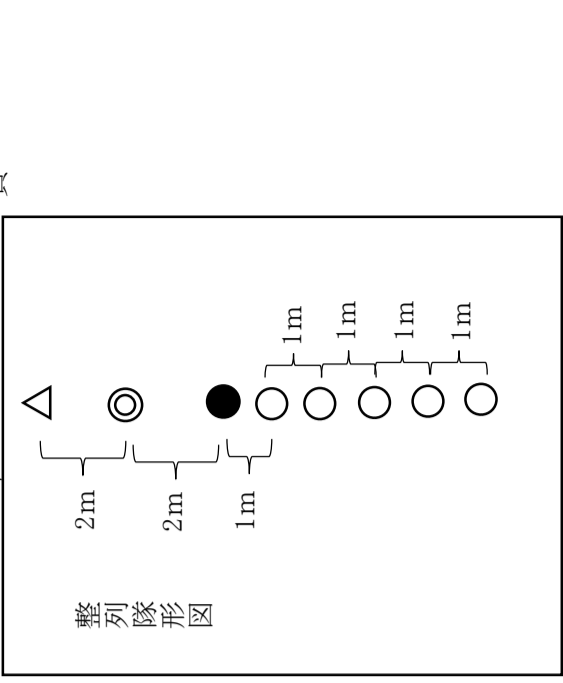
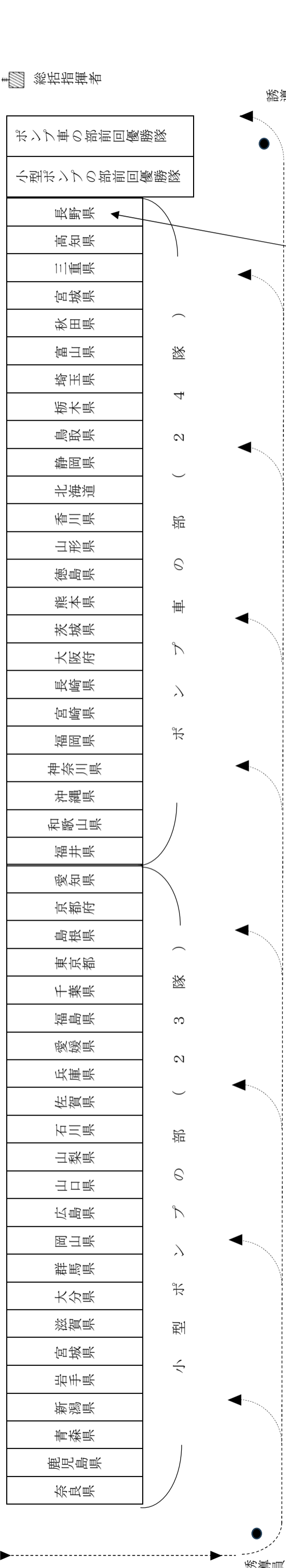
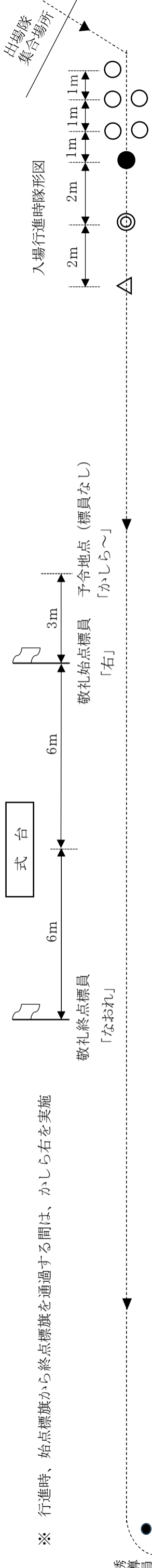
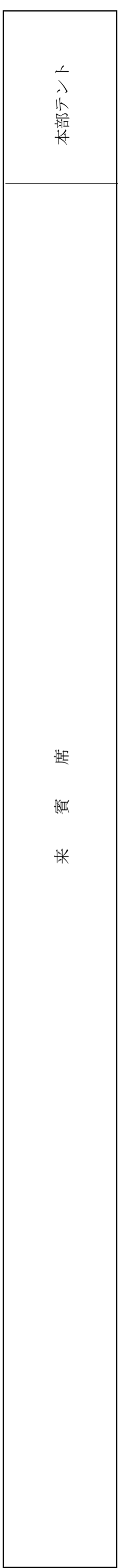
出場順	ポンプ車の部
1	長野県
2	高知県
3	三重県
4	宮城県
5	秋田県
6	富山県
7	埼玉県
8	栃木県
9	鳥取県
10	静岡県
11	北海道
12	香川県
13	山形県
14	徳島県
15	熊本県
16	茨城県
17	大阪府
18	長崎県
19	宮崎県
20	福岡県
21	神奈川県
22	沖縄県
23	和歌山県
24	福井県



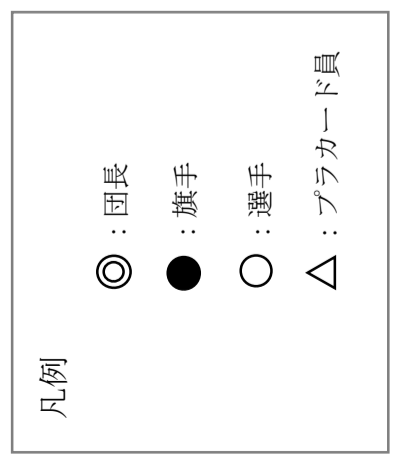
開会式における入場・退場動線図



入場要領及び開閉会式隊形図

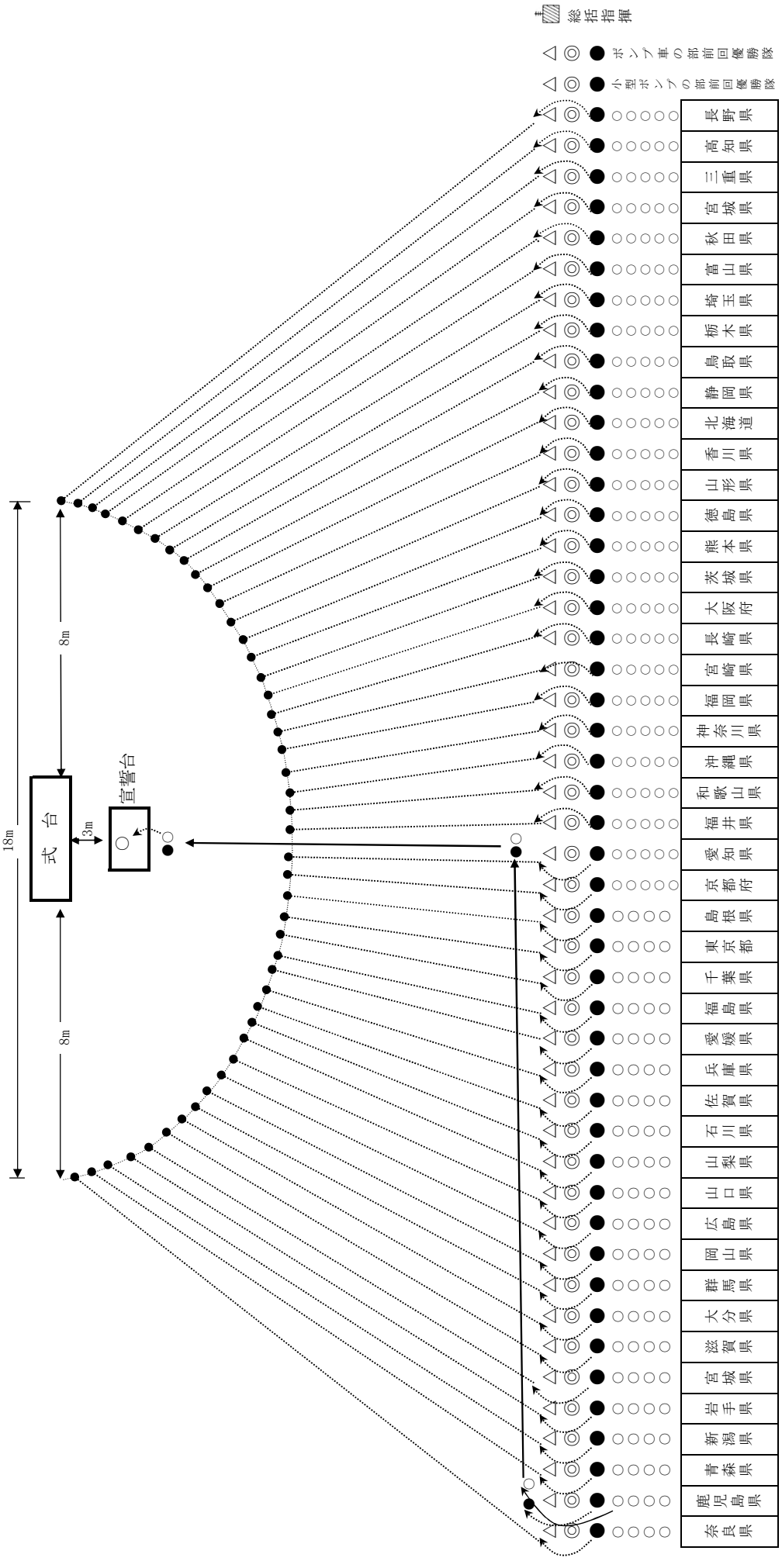
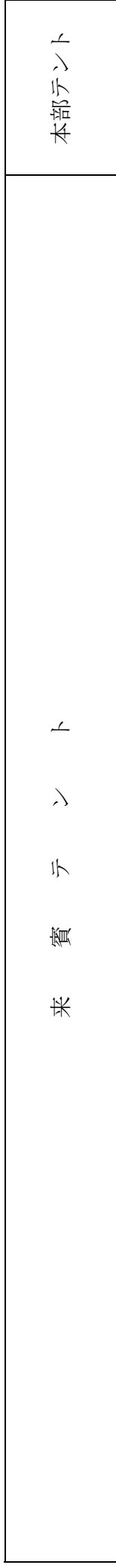


- 選手等の間隔
- 1 入場行進時
 - プラカード員と団長の間隔は2m
 - 団長と旗手の間隔は2m
 - 旗手と隊員の間隔は1m
 - 選手と選手の間隔は1m (選手は2列)
 - 隊と隊の間隔は3m
 - 2 整列時
 - プラカード員と団長の間隔は2m
 - 団長と旗手の間隔は2m
 - 旗手と選手の間隔は1m
 - 選手と選手の間隔は1m



※ 行進時、始点標旗から終点標旗を通過する間は、かしら右を実施

選手宣誓時の出場団旗の集合隊形図

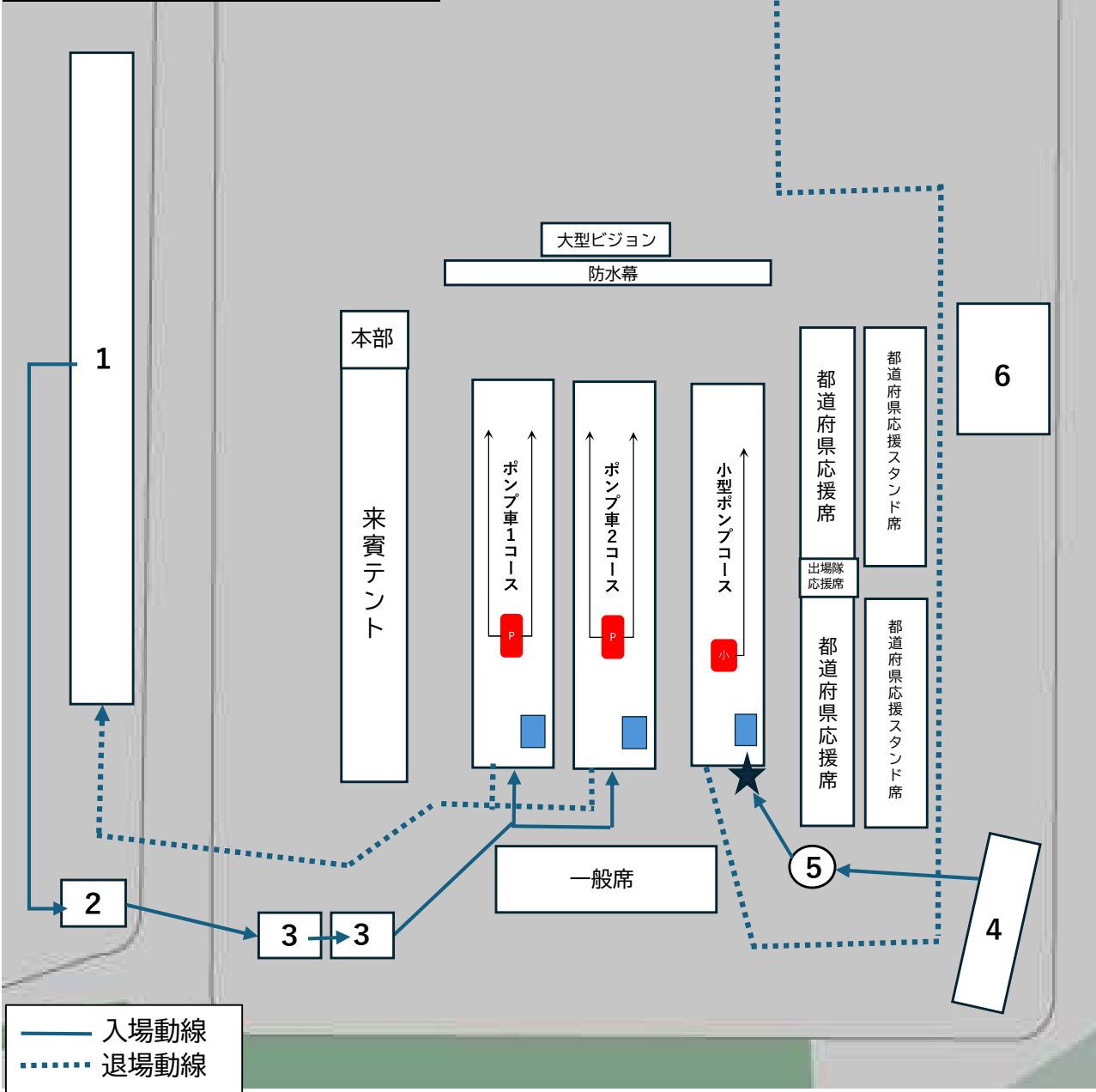


※ 選手宣誓者は鹿児島県

凡例
 プラカード員：△ 団長：◎ 旗手：● 選手：○

出場準備・撤収要領

1	ポンプ車保管場所
2	ポンプ車待機場所
3	ポンプ車準備場所
4	小型ポンプ待機場所
5	小型ポンプ準備場所
6	ホース回収場所
7	小型ポンプ撤収場所
8	小型ポンプ保管場所
★	90秒設定スタート位置

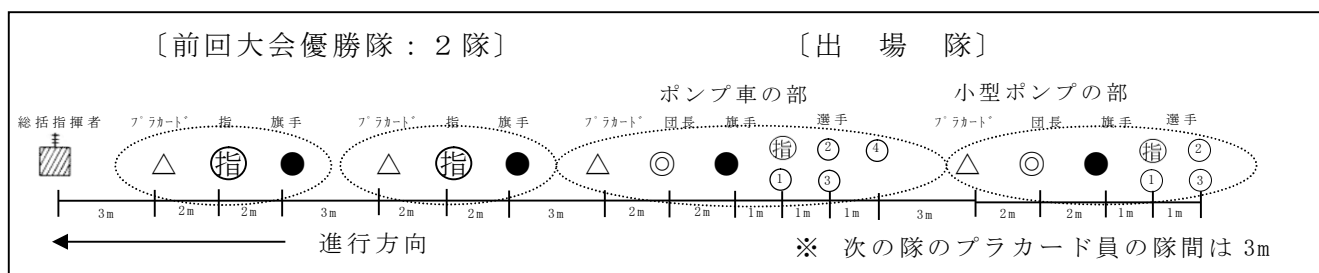


第30回全国消防操法大会開閉会式要領細部事項

1 入場行進要領

- ・ 8時30分～開閉会式の諸説明を別図5で示す出場隊集合場所で行う。
- ・ 8時55分～入場行進順に整列する。
- ・ 9時00分～入場行進開始

- (1) 入場行進順路は別図6のとおりとする。
- (2) 入場行進隊形は縦隊とし、各距離は次のとおりとする。



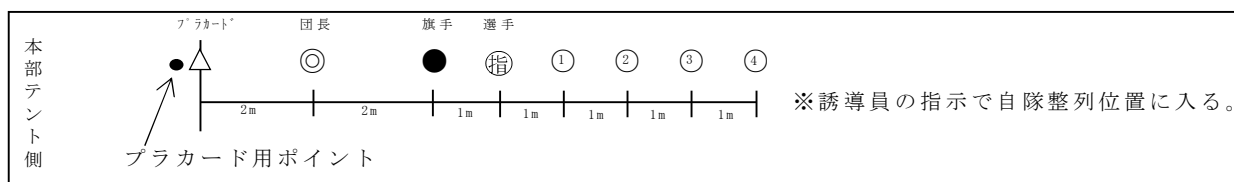
ア プラカード員は、プラカードの隊名表示が進行方向から見えるように、柄の下部を左手、中央部を右手で握り、右腕が地面と平行になるよう前に伸ばして行進し、団長の「かしら～右」の号令で、プラカードが進行方向と平行になるよう90度右に向け、「なおれ」の号令で再び90度左に向け、行進を続ける。

イ 各団長は、敬礼始点標員手前3mにさしかかった時「かしら～」と予令を発し、敬礼始点標員にさしかかった時「右」と動令を発し検閲者に対し挙手注目の敬礼を行う。各隊員は号令により頭を45度右に向け行進する。また、団長は自分が敬礼終点標員をさしかかった所で自らなおれ「なおれ」と号令し、各隊員は頭を元に戻し、行進を継続する（別図6参照）。

ウ 行進時については、各コーナーに配置された誘導員の外側を回り、誘導員の指示に従い指定された位置に整列する。

(3) 式典整列

ア プラカード員は、整列時においてプラカードの隊名表示部を正面に向け、足元にあるポイントにプラカードの柄を置き、立てたプラカードの上部に両手を添えるようにして、団長以下はそれを基に下図のとおり間隔をとって自主的に整頓し、団長の指揮で「整列休め」の姿勢をとる。



イ プラカード員の「整列休め」は左足を半歩開くのみとする。

ウ 式典整列図のとおり、整列時の距離はプラカード員、団長、旗手は各々2m。旗手から先頭隊員を含む隊員間は1mとする。

エ 団長、旗手及び選手は右翼にならって整頓する。

2 式典要領

- (1) 国旗掲揚及び降納は「回れ～右」の号令により選手団は「回れ右」をし

て「国旗に注目」の号令で注目する（団長は挙手注目の敬礼）。また、プラカード員の「回れ～右」については、プラカードを軽く持ち上げ、同じように向きを変え、プラカードを身体の正面で降ろした姿勢をとる。総括指揮者の号令により再度、運営本部テント側に身体の向きが戻った際の自主整頓は省略する。

(2) 選手宣誓要領（別図7参照）

ア 宣誓者及び同旗手は、場内アナウンスによる『只今から、選手宣誓を行います。各旗手は、総括指揮者の号令により、式台のまわりにお集まりください。』の後、他の隊に先行して、整列する出場隊の前を駆け足で進み、中央に設置してある宣誓台の前に移動し、横隊で整列する。

イ 総括指揮者は、宣誓者及び同旗手の整列状況を確認した後、「気をつけ」「旗手のみ かけ足～進め」の号令をかけ、すべての出場隊の旗手を指定している集合位置に集合させる。

ウ 選手団は、総括指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり、宣誓の間は注目する。

エ 各旗手は、総括指揮者の「旗手のみ かけ足～進め」で宣誓台の周りに半円状に集まり、以後、宣誓者の指揮に従う。

オ 宣誓者は、場内アナウンスによる紹介を受けた後、宣誓台の前で「敬礼」と号令をかけ、一連の敬礼動作を行い、宣誓台に上がり宣誓を行う。

カ 宣誓者は宣誓後、向きを変え宣誓台を降り、受令者に向きを変えた後、「敬礼」の号令をかけ、一連の敬礼動作を行い、受礼者が降壇するのを確認した後、回れ右を行い、各隊旗手と相對する。

キ 宣誓者の「まわれ～右」「かけ足 進め」の号令により、各隊の旗手及び宣誓者は元の位置に戻る。

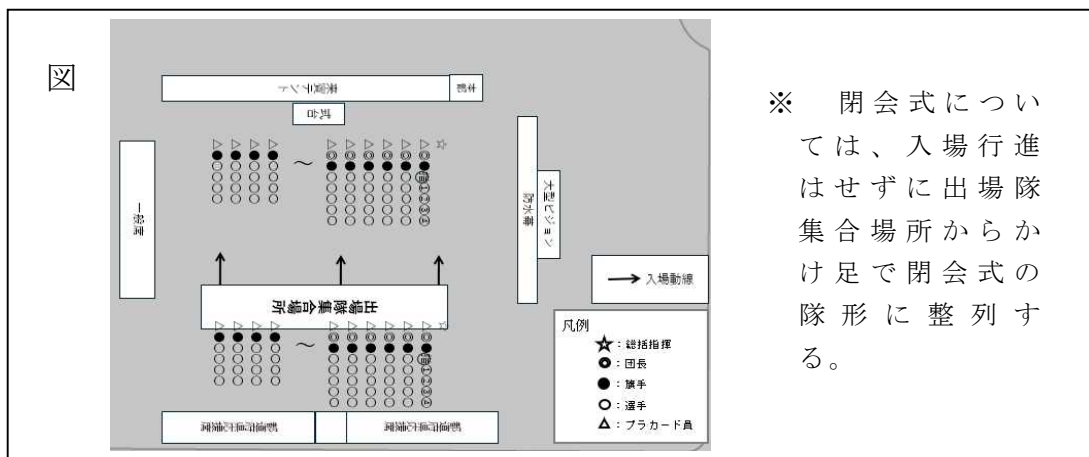
(3) 退場は総括指揮者の号令により、かけ足で別図5のとおり退場する。

3 閉会式要領

(1) 出場隊については、女性消防操法披露を都道府県応援席で見学する。操法終了後、女性消防隊の撤収が完了すれば、係員の指示で操法会場中央ポンプ車2コース出場隊集合場所に待機する。（応援席前のバリケードは係員が撤去する。）

(2) 総括指揮者が定位につき、総括指揮者の「選手団、閉会式の隊形に集まれ」の号令で、プラカードを先頭に選手団は駆け足で前進し、閉会式と同隊形に整列する。

(3) 総括指揮者は、「右へ～ならえ」で隊を整列させ、その後「整列～休め」の号令をかける。



※ 閉会式については、入場行進はせずに出場隊集合場所からかけ足で閉会式の隊形に整列する。

会場アクセスマップ



シャトルバス運行表

10月11日(金)

仙台駅東口 → グランディ・21【約40分】

7時/8時/9時	10時/11時/12時/13時
0・15・30・45	0・30

グランディ・21 → 仙台駅東口【約40分】

10時/11時/12時/13時/14時	15時	16時
0・30	0・30・40・50	0・10・20・30・40

10月12日(土)

仙台駅東口 → グランディ・21【約40分】

6時	7時/8時	9時/10時
30・40・50	0・10・20・30・40・50	0・20・40
11時/12時/13時/14時		
0・30		

グランディ・21 → 仙台駅東口【約40分】

10時/11時/12時	13時	14時/15時
0・30	0・30・50	10・30・50
16時/17時	18時	
0・10・20・30・40・50	0	

仙台駅シャトルバス発着場



会場シャトルバス発着場

